

# 御園地区地域審議会

## 提言書

令和3年2月2日

## はじめに

平成17年11月1日、旧御菌村、旧伊勢市、旧二見町、旧小俣町の4市町村が合併し、新たな「伊勢市」が誕生しました。

合併による「まち」の調和を図るため、平成18年7月1日に旧4市町村の地区にそれぞれに地域審議会が発足され、新市のまちづくりにあたり、地域の有する歴史・文化を共通の財産とし、新たに生まれ変わり続けることで、常に地域の価値を創造し、市民誰もが主体者として活躍できるまち、活力と安心のあるまち、将来にわたり住み続けたいまちを目指し、市民みなが一体となり、行ってきました。

旧御菌村は、大根畑や芋畑、電照菊のハウスが広がり、心安らぐ田園風景でしたが、昭和48年に国道23号線の伊勢地区が開通してからは都市化の波が急速に押し寄せ、現在の国道沿いは大手企業等の店舗がひしめく街へとすっかり変容しました。

御菌地区地域審議会も第8期を迎え今年度で最終となりますが、心安らぎ、いつまでも人と人とのふれあい、絆をいつまでも大切にしていける御菌町を次世代の子供達に残していきたいと考えております。

## 「輝くまちづくり」への提言

さて、平成30年7月には第3次伊勢市総合計画基本構想及び前期基本計画が策定され、次の7つのまちづくりの主要課題が示されております。

- 子どもを産み育てやすい環境づくり
- 超高齢社会への対応
- 地域のつながりの再生
- 集約型都市構造の促進と公共交通体系の整備
- 選ばれるまちづくり
- 自然災害の備え
- 有形・無形の歴史的・文化的資産の継承と活用

御菌地区地域審議会は、今後も将来にわたり少子高齢社会が進む中、市民目線での組織づくり、地域活性化に取り組み、次世代の子供たちの健やかな成長を願い、7つのまちづくりの主要課題のうち、「集約型都市構造の促進と公共交通体系の整備」と「有形・無形の歴史的・文化的資産の継承と活用」の課題について、次のとおり提言します。

## 「集約型都市構造の促進と公共交通体系の整備」に関する提言

### 1 現状と課題

市街地の幹線道路においては近鉄、JRにより分断され、踏切での交通渋滞が頻発し、緊急時等の救急搬送に支障が生じている。厚生中学校の隣接地に伊勢赤十字病院と大規模商業集積地があり、御菌地区では伊勢慶友病院の建設が始まる中、高向神田線、八日市場高向線の整備事業が行われ、橋梁も含めた高向小俣線の整備も進められている。

今後、増々の交通量の増加や市内の円滑な移動が損なわれることが見込まれる。

### 2 提言の概要

交通量の増加に伴い、生活道路の機能は著しく阻害される。暮らしやすい生活圏の構築と移動しやすいまちづくりを進める必要がある。

交通輸送の効率化や快適性向上を目指す高度道路交通システム（ITS）などのソフト面の整備も必要であるが、遅れているハード面の整備が重要と考える。

### 3 今後の対策

① 旧日赤北側の高向神田線の未整備地区があり、交通障害が生じている。

また、これと交差する八日市場高向線には一部未供用部分があり、これがボトルネックとなり交通障害を招いている。

これらの問題を解消するために、高向神田線の未整備地区早期着手と八日市場高向線の未共用部分の早期供用開始をしよう求める。

② 御菌地区における高向小俣線整備事業の早期着工を求める。

また、この整備事業により、交通障害を招かない交差点や信号制御方式等の計画設計をするよう求める。

## 「有形・無形の歴史的・文化的資産の継承と活用」に関する提言

### 1 現状と課題

旧御菌村は古来より神宮に所属する神領地であり、遅くとも神宮創祀の6世紀の頃より集落が形成されており、国道23線敷設工事の高向遺跡発掘調査では奈良・平安時代の土師器や須恵器、また鎌倉・室町時代の緑釉陶器が出土することから判るように、古くから栄えた歴史と文化のある地区です。

それ故に12世紀（平安時代）より伝わる高向のお頭神事（昭和52年国指定重要無形文化財）が継承され、また山田奉行所のある江戸幕府の天領地であった小林と上條では、勇壮な手筒花火で有名なかんこ踊り（大念仏かんこ踊り）が17世紀（江戸時代）より今日まで継承されています。

しかしながら、都市化により農業を主とした心のつながりが深い共同体から、工業・商業への産業構造の変遷や核家族化が進み、地域への思いの低下や少子高齢化と相まり、伝統行事の担い手不足の問題が生じている。

### 2 提言の概要

御頭神事、大念仏かんこ踊り、またお木曳き・お白石持ち行事も含め、担い手の不足は大きな問題である。地域の歴史的・文化的資産の継承と活用を図り未来につなげる必要がある。

今後は、伝統行事の地域活動への参加者を増やすため、活動内容の情報発信に努めながら、地域活動に対する意識の醸成を図るとともに、地域の課題を導けるリーダー育成や多様な組織・団体の連携により担い手の確保を図ることが重要であると考えます。

### 3 今後の対策

- ① 伝統行事については、地域の中で福祉や防災と同様に一緒に考えていく必要がある。

行政、自治会、伝統行事を行う団体、商工会及び老人会等で構成する「まちづくり協議会」のような大きなネットワークを構築し、市民からの要望等の情報収集や市民への担い手育成活動などの情報発信を行い、市民との情報共有化を進め、協力体制や役割分担、横の連絡を確認が出来る場づくりをするよう求める。

- ② 伝統行事に携わる各団体のリーダーの研修の機会や養成講座開催等の人づくりを進めるよう求める。

- ③ 小中学校の児童生徒が伝統行事を通じて郷土を愛し、誇りを持てるよう社会学習や親子教室の開催を積極的に行い、また山田奉行所記念館等の施設を積極的に活用し、郷土を愛する意識の醸成を図る学習の機会を設けるよう求める。

### おわりに

水面にきらきりと雲母きらめく悠久の流れ「宮川」のように、いつまでもこの伊勢の地に私たちがつながり、誇りと安らぎを育む魅力創造都市「伊勢」の増々の発展を願っています。

令和3年2月2日

伊勢市長 鈴木 健一 様

御園地区地域審議会 会長 中村 正

## 第8期 御菌地区地域審議会名簿

任期：令和2年4月1日～令和3年3月31日

役職	所属団体等	氏名	備考
会長	学識経験者	中村 正	元伊勢地区合併協議会4号委員
副会長	学識経験者	一蝶 哲司	元民生委員
委員	御菌町自治区連絡協議会 会長	森田 秀次	
委員	御菌まちづくり協議会 会長	奥田 孝	
委員	御菌商工連絡協議会 会長	藤井 孝夫	
委員	伊勢市立御菌小学校PTA 会長	黒宮 祥史	
委員	御菌中学校区青少年健全育成協議会 会長	世古 和久	
委員	御菌地区民生委員・児童委員協議会	大西 美恵子	
委員	伊勢市老人クラブ御菌地区連合会 副会長	山口 兵二	
委員	伊勢文化サークル協会御菌支部 支部長	村上 二美武	
委員	伊勢市食生活改善推進協議会 会員	平野 あけみ	
委員	学識経験者	戸上 米子	元御菌村議会議員
委員	学識経験者	中居 重春	元御菌村教育長
委員	学識経験者	中北 好美	元小学校校長
委員	学識経験者	宮本 隆生	元民生委員